

エコアクション21



2018

株式会社 水質研究所

対象期間 平成29年4月～平成30年3月

発行日 平成30年5月7日

目 次

	ページ
1. 環境経営方針	1
2. 環境行動指針	1
3. 事業の概要	2
4. 対象範囲	3
5. 役割分担	3
6. 環境経営計画	4
7. 環境経営目標及び実績	5
8. 未達成項目の原因とその対策	6
9. 環境経営計画の取組結果とその評価	7
10. 次期環境経営目標	8
11. 次年度の取組内容	9
12. 環境関連法規等の遵守状況の確認	10
13. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	10
14. 代表者による全体評価と見直しの結果	11

□ 環 境 経 営 方 針

株式会社水質研究所は、上下水道施設運転管理を柱とする事業活動を通して、自然環境と水の循環を守り、より良い水資源を将来の世代に残せるよう事業を推進します。

環境行動指針

1. 施設の効率的な運転による省エネルギー、省資源化に取り組みます。
2. 水環境への負荷の低減に努め、水源地、及び河川環境の保全に努力します。
3. 業務車両のエコドライブに取り組み、二酸化炭素排出抑制に努めます。
4. 化学物質を適正に管理します。
5. 関連する環境法令及び条例を遵守します。
6. 各管理所にも環境方針を通知し、受託施設の環境マネジメントシステムに協力します。

制定日 平成 20年 5月 1日

改訂日 平成 28年 5月 18日 3版

株式会社 水質研究所

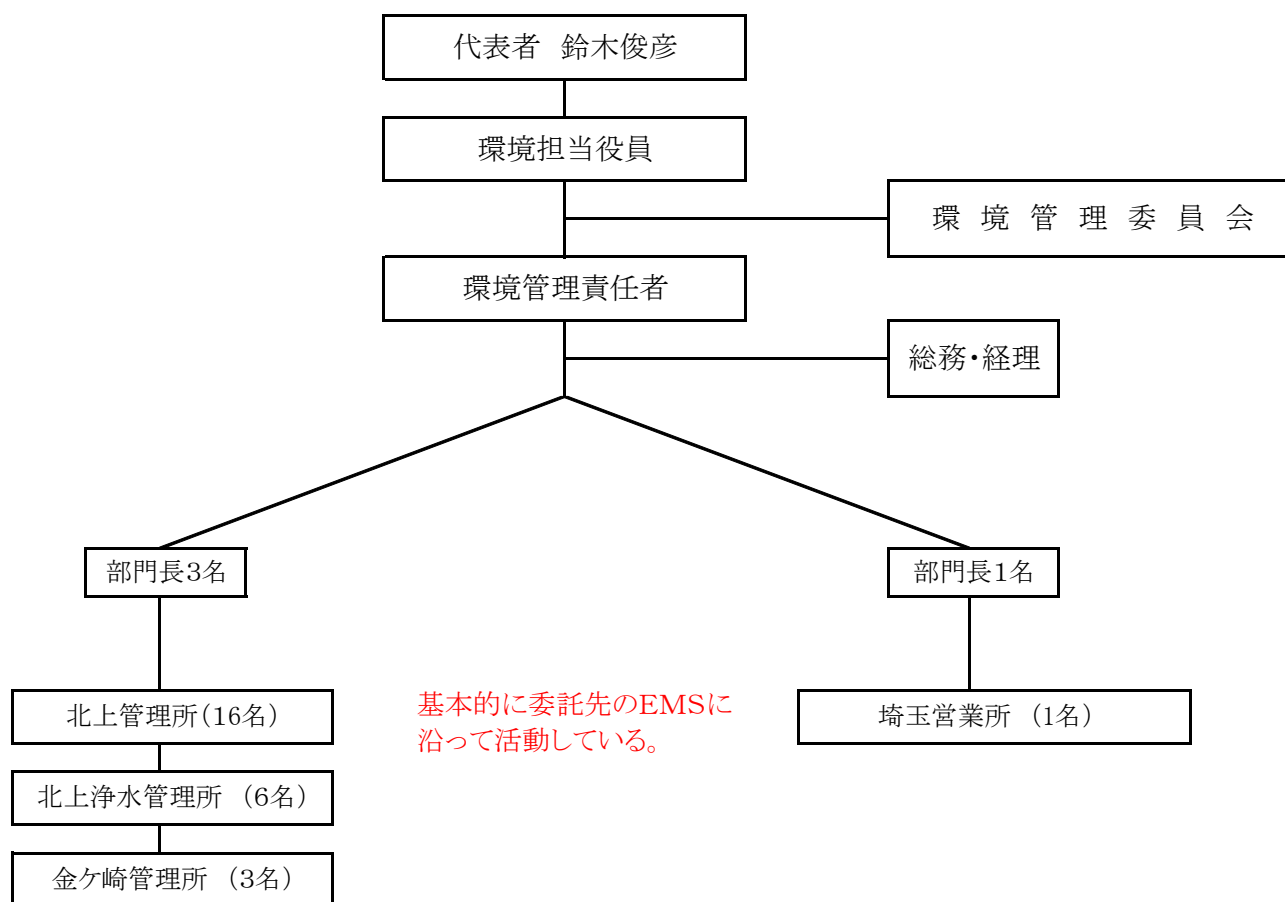
代表取締役社長 鈴木 俊彦

□ 対象範囲

株式会社 水質研究所

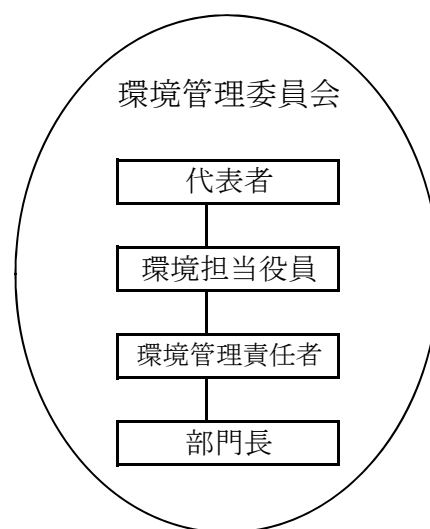
(対象人員30名)

[EA21対象範囲]



□ 役割分担

代 表 者	・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境方針の作成、システムの見直し ・ EA21活動の資源の準備 ・ 環境管理責任者から活動の方向を受け全体の見直し評価を行う
環境担当役員	・ 代表者の補佐 ・ 各部門長への指導
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、運用、管理 ・ 環境活動の取り組み結果を代表者へ報告
環境管理委員	・ 必要な教育訓練の計画、実施 ・ システムを推進し、是正、改善する
社 員	・ 環境方針の認識、システム運用 ・ 改善提案



□ 事業の概要

1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社 水質研究所

代表取締役社長 鈴木 俊彦

2. 所在地

本社	岩手県北上市幸町2番5号
北上管理所	岩手県北上市二子町坊館26
北上浄水管理所	岩手県北上市北工業団地5番52号
金ヶ崎管理所	岩手県金ヶ崎町西根揚場後22-2
埼玉営業所	埼玉県さいたま市見沼区中川335-7

EA21登録範囲

3. 環境管理責任者及び連絡先

多田昌弘 TEL:0197-63-6170

4. 事業内容

上下水道施設の運転維持管理業

浄化槽保守点検業

労働者派遣事業

5. 事業登録

下水道処理施設維持管理業者登録 国土交通省(5)処28-269

浄化槽保守点検業者登録 岩手県27(登)中第10号

労働者派遣事業許可 許可番号 派03-300070

6. 事業の規模

設立 昭和54年10月9日

資本金 2100万円

従業員 77名(常勤役員含む)

7. 認証登録範囲

全組織・全活動

□ 環境経営計画

株式会社 水質研究所

No.	環境目標	方法	具体的取組
1	総エネルギー投入量の削減	空調温度の管理 不使用電力の節約 ガソリン軽油の節約 機器運転管理の見直し 自然エネルギーの利用	エアコンを夏季27℃に冬季21℃に設定する 休み時間は消灯する 不使用設備の電源はNFBを切る又はコンセントを抜く OA機器は省電力設定にする エコドライブを実施する 効率的な運転と運転時間の短縮 水力等のエネルギー利用検討
2	水資源投入量の削減	節水の励行	節水表示をする 水を出しっ放しにしない 雨水等の利用
3	温室効果ガス排出量の削減	1に準ずる	
4	廃棄物総排出量の削減	裏紙の使用 可燃ごみの削減	コピー用紙に裏紙を使う 可燃ごみの量を減らす エコキャップ運動の実施
5	廃棄物最終処分量の削減	再資源化 分別の徹底	紙のリサイクルをする 鉄のリサイクルをする 分別して捨てる リサイクル品を焼却しない
6	排水量の削減	3に準ずる	
7	グリーン購入の推進	エコマーク品の購入 グリーン購入の推進 再生紙化製品の購入	エコマーク文具を購入する グリーン商品を購入する 名刺は再生紙を使用する エコ検定等の受検
8	浄水場の電力量の削減	機器の運転管理	効率的な運転管理をする
9	環境保全意識の向上	教育訓練の実施 全社員への意識付け	朝礼等で認識させる 社外教育に参加する 環境方針を言えるようにする 関連環境法令の遵守 各管理所への通知
10	環境保全の実施	水源地及び河川環境の保全	水源地の清掃を実施する 自主管理基準値内での運転管理 水質改善のための運転方法検討 環境関連法規の遵守 省エネ運転
11	地域環境	地域の清掃活動への参加 新たな地域貢献活動検討	年4回社員8割以上参加する

□ 環境目標及び実績

表1 【水質研究所全体】 この表は、環境目標を数値化できる項目のみ記載。 株式会社 水質研究所

項目	単位	平成28年度	平成29年度			平成32年度(中期目標)
		実績	目標(0.25%削減)	実績	達成率(%)	1%削減(対28年度実績)
北上管理所電力量	kWh	778,450	776,504	792,820	97.9	770,666
流入水1m3あたりの電力量	kWh/m ³	0.193	0.193	0.186	103.5	0.1911
北上浄水管理所電力量	kWh	3,213,000	3,204,968	3,132,700	102.3	3,180,870
取水1m3あたりの電力量	kWh/m ³	0.4427	0.4416	0.4320	102.2	0.4383
上水	m ³	279.9	279.2	253.1	110.3	277.1
LPG	kg	137.7	137.4	100.8	136.3	136.3
ガソリン*1	L	6,824.7	6,807.6	6,176.8	110.2	6,756.5
軽油	L	1,456.6	1,453.0	1,538.7	94.4	1,442.0
灯油	L	2,223.3	2,217.7	2,286.3	97.0	2,201.1
廃棄物(可燃ごみ)	kg	148.3	147.9	141.2	104.8	146.8
総エネルギー量*1	MJ	39,605,096.0	39,506,083.3	38,949,325.0	101.4	39,209,045.0
二酸化炭素排出量*1	kg-CO ₂	2,212,179.0	2,206,648.6	2,175,563.4	101.4	2,190,057.2

注1) *1:北上管理所及び、埼玉営業所の合算

達成率(%) = 目標値 / 実績値 × 100

注2) 購入電力の二酸化炭素排出係数は

①北上管理所及び北上浄水管理所は、「環境省H29年12月発表 東北電力調整後排出係数:0.548kg-CO₂/kwh」を使用

②埼玉営業所は、「環境省H29年12月発表 東京電力調整後排出係数:0.474kg-CO₂/kwh」を使用

ガソリン使用量

項目	単位	平成28年度	平成29年度			平成32年度(中期目標)
		実績	目標(0.25%削減)	実績	達成率(%)	1%削減(対24年度実績)
北上管理所	L	4,090.5	4,080.3	3,952.0	103.2	4,049.6
埼玉営業所	L	2,734.2	2,727.4	2,224.8	122.6	2,706.9

□ 未達成項目の原因とその対策

株式会社 水質研究所

項目	単位	平成28年度	平成29年度				未達成の原因	対策
		実績	目標(0.25%削減)	実績	達成率(%)	取組		
北上管理所電力量	kWh	778,450	776,504	792,820	97.9	○	流入水量が増加した為	目標値を見直す
流入水1m3あたりの電力量	kWh/m ³	0.193	0.193	0.186	103.5	○		
北上浄水管理所電力量	kWh	3,213,000	3,204,968	3,132,700	102.3	○		
取水1m3あたりの電力量	kWh/m ³	0.4427	0.4416	0.4320	102.2	○		
上水	m ³	279.9	279.2	253.1	110.3	○		
LPG	kg	137.7	137.4	100.8	136.3	○		
ガソリン*1	L	6,824.7	6,807.6	6,176.8	110.2	○		
軽油	L	1,456.6	1,453.0	1,538.7	94.4	○	ディーゼル車使用量増加のため	ガソリン車と均すとほぼ横ばいと考えられる。
灯油	L	2,223.3	2,217.7	2,286.3	97.0	○	前年度より低温の日が多かったため。	天候に左右される。
廃棄物(可燃ごみ)	kg	148.3	147.9	141.2	104.8	○		
総エネルギー量*1	MJ	39,605,096.0	39,506,083.3	38,949,325.0	101.4	○		
二酸化炭素排出量*1	kg-CO ₂	2,212,179.0	2,206,648.6	2,175,563.4	101.4	○		

□ 環境経営計画の取組結果とその評価

数値化できない環境目標も環境活動計画に記載します

株式会社 水質研究所

No.	環境目標	方法	具体的取組	評価
1	総エネルギー投入量の削減	空調温度の管理	エアコンを夏季27℃に冬季21℃に設定する	○
		不使用電力の節約	休み時間は消灯する	○
			不使用設備の電源はNFBを切る又はコンセントを抜く	○
			OA機器は省電力設定にする	○
		ガソリン軽油の節約	エコドライブを実施する	○
		機器運転管理の見直し	効率的な運転と運転時間の短縮	○
		自然エネルギーの利用	水力等のエネルギー利用検討	○
2	水資源投入量の削減	節水の励行	節水表示をする	○
			水を出しっ放しにしない	○
			雨水等の利用	○
3	温室効果ガス排出量の削減	1に準ずる		
4	廃棄物総排出量の削減	裏紙の使用	コピー用紙に裏紙を使う	○
		可燃ごみの削減	可燃ごみの量を減らす	○
			エコキャップ運動の実施	○
5	廃棄物最終処分量の削減	再資源化	紙のリサイクルをする	○
		分別の徹底	鉄のリサイクルをする	○
			分別して捨てる	○
			リサイクル品を焼却しない	○
6	排水量の削減	3に準ずる		
7	グリーン購入の推進	エコマーク品の購入	エコマーク文具を購入する	○
		グリーン購入の推進	グリーン商品を購入する	○
		再生紙化製品の購入	名刺は再生紙を使用する	○
			エコ検定等の受検	○
8	浄水場の電力量の削減	機器の運転管理	効率的な運転管理をする	○
9	環境保全意識の向上	教育訓練の実施	朝礼等で認識させる	○
		全社員への意識付け	社外教育に参加する	○
			環境方針を言えるようにする	○
			各管理所への通知	○
10	環境保全の実施	水源地及び河川環境の保全	水源地の清掃を実施する	○
			自主管理基準値内での運転管理	○
			水質改善のための運転方法検討	○
			環境関連法規の遵守	○
			省エネ運転	○
11	地域環境	地域の清掃活動への参加	年4回社員8割以上参加する	○
		新たな地域貢献活動検討		○

□ 次期環境目標

表1 【水質研究所全体】この表は、環境目標を数値化できる項目のみ記載。

株式会社 水質研究所

項目	単位	平成30年度目標	平成28年度実績	平成32年度(中期目標)
				1%削減(対28年度実績)
北上管理所電力量	kWh	774,558	778,450	770,666
流入水1m3あたりの電力量	kWh/m ³	0.192	0.193	0.191
北上浄水管理所電力量	kWh	3,196,935	3,213,000	3,180,870
取水1m3あたりの電力量	kWh/m ³	0.4405	0.4427	0.4383
上水	m ³	278.5	279.9	277.1
LPG	kg	137.0	137.7	136.3
ガソリン*1	L	6,790.6	6,824.7	6,756.5
軽油	L	1,449.3	1,456.6	1,442.0
灯油	L	2,212.2	2,223.3	2,201.1
廃棄物(可燃ごみ)	kg	147.6	148.3	146.8
総エネルギー量*1	MJ	39,407,070.5	39,605,096.0	39,209,045.0
二酸化炭素排出量*1	kg-CO ₂	2,201,118.1	2,212,179.0	2,190,057.2

注1) *1:北上管理所及び北上浄水管理所と、埼玉営業所の合算

注2) 購入電力の二酸化炭素排出係数は

①北上管理所及び北上浄水管理所は、「環境省H29年12月発表 東北電力調整後排出係数:0.548kg-CO₂/kwh」を使用

②埼玉営業所は、「環境省H29年12月発表 東京電力調整後排出係数:0.474kg-CO₂/kwh」を使用

表2 【北上管理所及び北上浄水管理所】

項目	単位	平成30年度目標	平成28年度	平成32年度(中期目標)
			実績	1%削減(対28年度実績)
ガソリン(北上管理所)	L	4,070.0	4,090.5	4,049.6
ガソリン(埼玉営業所)	L	2,720.6	2,734.2	2,706.9

□ 次期環境目標

表1 【水質研究所全体】この表は、環境目標を数値化できる項目のみ記載。 株式会社 水質研究所

項目	単位	平成28年度実績	平成32年度(中期目標)	平成29年度	1ヶ月当たり	平成30年度	平成31年度
			1%削減(対28年度実績)	0.25%削減		0.50%削減	0.75%削減
北上管理所電力量	kWh	778,450	770,666	776,504	64,709	774,558	772,612
流入水1m3あたりの電力量	kWh/m ³	0.193	0.191	0.193		0.192	0.192
北上浄水管理所電力量	kWh	3,213,000	3,180,870	3,204,968	267,081	3,196,935	3,188,903
取水1m3あたりの電力量	kWh/m ³	0.4427	0.4383	0.4416		0.4405	0.4394
上水	m ³	279.9	277.1	279.2	23.3	278.5	277.8
LPG	kg	137.7	136.3	137.4	11.4	137.0	136.7
ガソリン*1	L	6,824.7	6,756.5	6,807.7	567.3	6,790.6	6,773.6
軽油	L	1,456.6	1,442.0	1,453.0	121.1	1,449.3	1,445.7
灯油	L	2,223.3	2,201.1	2,217.7	184.8	2,212.2	2,206.6
廃棄物(可燃ごみ)	kg	148.3	146.8	147.9	12.3	147.6	147.2
総エネルギー量*1	MJ	39,605,096.0	39,209,045	39,506,083.3	3292173.6	39,407,070.5	39,308,057.8
二酸化炭素排出量*1	kg-CO ₂	2,212,179.0	2,190,057.2	2,206,648.6	183887.4	2,201,118.1	2,195,587.7

注1) *1:北上管理所及び北上浄水管理所と、埼玉営業所の合算

注2) 購入電力の二酸化炭素排出係数は

- ①北上管理所及び北上浄水管理所は、「環境省H29年12月発表 東北電力調整後排出係数:0.548kg-CO₂/kwh」を使用
- ②埼玉営業所は、「環境省H29年12月発表 東京電力調整後排出係数:0.474kg-CO₂/kwh」を使用

表2 【北上管理所及び北上浄水管理所】

項目	単位	平成28年度	平成32年度(中期目標)
		実績	1%削減(対28年度実績)
ガソリン	L	4,090.5	4,049.6
総エネルギー量	MJ	39,605,096	39,209,045.0
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,212,179	2,190,057.2

表3 【埼玉営業所】

項目	単位	平成28年度	平成32年度(中期目標)
		実績	1%削減(対28年度実績)
ガソリン	L	2,734.2	2,706.9
総エネルギー量	MJ		0.0
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂		0.0

□ 次年度の取組内容

数値化できない環境目標も環境経営計画に記載します

株式会社 水質研究所

No.	環境目標	方法	具体的取組
1	総エネルギー投入量の削減	空調温度の管理	エアコンを夏季27℃に冬季21℃に設定する
		不使用電力の節約	休み時間は消灯する
			不使用設備の電源はNFBを切る又はコンセントを抜く
			OA機器は省電力設定にする
		ガソリン軽油の節約	エコドライブを実施する
			LPGの使用量を削減する
		機器運転管理の見直し	効率的な運転と運転時間の短縮
		自然エネルギーの利用	水力等の再生可能エネルギー利用検討
2	水資源投入量の削減	節水の励行	節水表示をする
			水を出しっ放しにしない
			雨水等の利用
3	温室効果ガス排出量の削減	1に準ずる	
4	廃棄物総排出量の削減	裏紙の使用	コピー用紙に裏紙を使う
		可燃ごみの削減	可燃ごみの量を減らす
			エコキャップ運動の実施
5	廃棄物最終処分量の削減	再資源化	紙のリサイクルをする
		分別の徹底	鉄のリサイクルをする
			分別して捨てる
			ごみを出さない努力をする
			リサイクル品を焼却しない
6	排水量の削減	3に準ずる	
7	グリーン購入の推進	エコマーク品の購入	エコマーク文具を購入する
		グリーン購入の推進	グリーン商品を購入する
		再生紙化製品の購入	名刺は再生紙を使用する
			エコ検定等の受検
8	浄水場の電力量の削減	機器の運転管理	効率的な運転管理をする
9	環境保全意識の向上	教育訓練の実施	朝礼等で認識させる
		全社員への意識付け	社外教育に参加する
			環境方針を言えるようにする
			各管理所への通知
10	環境保全の実施	水源地及び河川環境の保全	水源地の清掃を実施する
			自主管理基準値内での運転管理
			水質改善のための運転方法検討
			化学物質の適正な管理
			環境関連法規の遵守
			省エネ運転
11	地域環境	地域の清掃活動への参加	年4回社員8割以上参加する
		新たな地域貢献活動検討	道路清掃の他に地域貢献活動を実施する

□ 環境関連法規の遵守状況の確認

株式会社 水質研究所

環境関連法	法規制内容	規制対象	測定・届出・報告	遵守状況確認結果			
				4/1/15	4/1/16	4/1/17	4/1/18
水道法	水道水及び施設の用件	水道事業	厚生労働大臣	○	○	○	○
下水道法	施設の用件及び処理水基準	処理水	北上市	○	○	○	○
	登録		保健所	○	○	○	○
	設置届出		岩手県知事	○	○	○	○
浄化槽法	保守検査	浄化槽・ポンプ	浄化槽管理者	○	○	○	○
	清掃	浄化槽	浄化槽管理者	○	○	○	○
	定期検査	外観・水質・書類	岩手県浄化槽管理センター	○	○	○	○
水質汚濁防止法	公共用水域への排水	工場及び事業場	環境大臣・県知事	○	○	○	○
環境基本法	環境の保全	地球環境	環境大臣	○	○	○	○
悪臭防止法	悪臭の測定	悪臭原因物質	岩手県知事	○	○	○	○
騒音規制法	騒音の規制	エンジン・ポンプ	北上市長	○	○	○	○
振動規制法	振動の規制	ポンプ・ブロアー	北上市長	○	○	○	○
PRTR法	化学物質の移動	有害化学物質	経済産業省	○	○	○	○
毒物及び劇物取締法	毒劇物の取扱い	医薬品以外の化学物質	厚生労働大臣	○	○	○	○
労働安全衛生法	労働災害等の防止	全職場		○	○	○	○
	安全衛生管理体制	産業医・作業主任	労働基準監督署	○	○	○	○
	委員の設置	安全衛生委員会		○	○	○	○
	有害物	第2種有機溶剤	作業環境測定	○	○	○	○
消防法（危険物関連）	取扱	有機溶剤他	北上地区消防署	○	○	○	○
	貯蔵	危険物倉庫	同上	○	○	○	○
	取扱者	取扱主任者	同上	○	○	○	○
道路交通法	交通の安全・危険防止	車両	岩手県警察署	○	○	○	○

詳細については別紙環境関連法規の特定と遵守確認表1～4を参照

□ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規について、チェック表に基づいた評価の結果、違反はありません。

また、過去3年訴訟、苦情等ありません。

□ 代表者による全体評価と見直しの結果

平成29年度環境目標については四件の未達成項目が発生しましたが、これは北上管理所流入水量の増加、ディーゼル車の使用頻度増加、及び冬期低温の影響、東北電力の二酸化炭素実排出係数変更によるものと全て理由が明確になっており、今後はこれらを考慮して目標等を設定していきたいと考えます。

現在北上工業団地内に半導体工場が建設中であるが、完成の暁には当社が管理する上下水道施設への負荷が増大するものと思われ、今以上に省エネ運転について知恵を絞りながら対応していきます。

初回EA21登録から丸10年という一つの節目を迎え、今回から「環境計量士」を取得した社員を新たに環境管理責任者として組織に取り込み、継続してEA21を推進していきたいと思いをします。

株式会社 水質研究所

代表者 鈴木俊彦